平成２８年度
加古川市公開事業評価

実施結果報告書

Kakogawa City
加古川市
いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川

■目次■

第１章　実施概要

１　実施目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　１
２　実施日時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　１
３　会場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　２
４　実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　２
５　対象事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　３
６　実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　３
７　コーディネーター及び外部審議委員・・・・・・・・・・Ｐ　３
８　市民評価員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　４
９　市民評価員ガイダンス・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　５
１０　公開事業評価の周知方法　　・・・・・・・・・・・・・Ｐ　５
１１　公開事業評価の中継・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　５
１２　傍聴者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　６

第２章　評価結果

１　評価結果の区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　７
２　評価結果一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　８
３　評価結果の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　８
４　評価結果の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　８

第３章　アンケートの主な結果

１　市民評価員アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　９
２　傍聴者アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１１

（別冊）アンケート結果報告書

第１章　実施概要

１　実施目的

市が実施している事務事業の内容について、市民の視点を取り入れた公開による事業評価を次の目的で実施しました。

（１）市政に対する関心を高め、より広い市民参画を促すこと

（２）評価を通じて出た意見をもとに、業務改善に取り組み、施策に対する住民満足度の向上を図ること

（３）市民と行政との協働によるまちづくりを推進すること

２　実施日時

【１日目】平成２８年１０月１日（土）

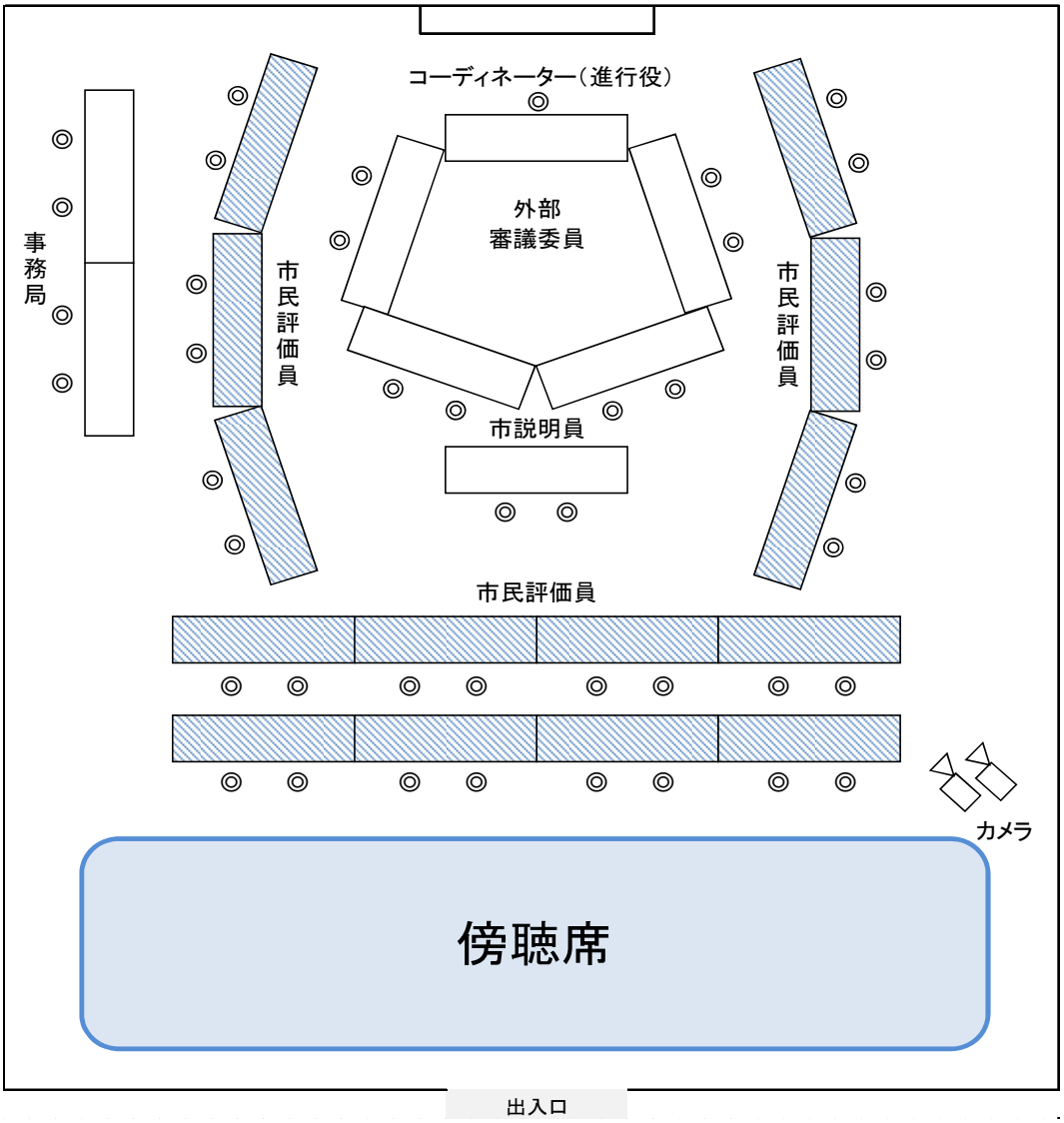
時間	対象事業	担当課
9：45～10：00	事務連絡等	
10：00～10：15	開会式	
10：15～11：20	ＢＡＮ－ＢＡＮラジオ事業	秘書広報課
11：20～11：30	休憩	
11：30～12：30	核兵器廃絶都市宣言事業	総務課
12：30～13：30	昼食休憩	
13：30～14：30	戦没者遺族援護事業	高齢者・地域福祉課
14：30～14：40	休憩	
14：40～15：50	未利用農地等活性化対策事業	農林水産課
15：50～15：55	１日目講評	

【２日目】平成２８年１０月２日（日）

時間	対象事業	担当課
9：45～10：00	事務連絡等	
10：00～11：10	ごみ減量化啓発事業	ごみ減量推進課
11：10～11：20	休憩	
11：20～12：15	子育て支援予防接種助成事業	育児保健課
12：15～13：10	昼食休憩	
13：10～14：15	女性消防団活動事業	消防本部総務課
14：15～14：25	休憩	
14：25～15：30	読書啓発事業	中央図書館
15：30～15：50	全体講評・閉会式	

３　会場

加古川市役所　新館１０階　大会議室



４　実施方法

市民の市政参画の機会の拡大、また評価に市民感覚を取り入れるため、公開事業評価では「市民評価員方式」を採用しました。

「市民評価員方式」とは、市職員と外部審議委員が各対象事業に対する議論を行い、市民評価員がその議論をもとに評価を行う方式です。

標準的な進行は次のとおりで、１事業あたりの所要時間は概ね１時間程度です。

順番	内　容	所要時間
1	市職員による事業の概要説明	１０分
2	外部審議委員による質疑・応答	３０分～４０分
3	市民評価員による評価	５分
4	評価結果の発表	５分

５　対象事業

対象事業は、次の手順により選定しました。

（１）全事務事業のうち、事業継続３年以上、完了・廃止予定事業ではない、事業費１００万円以上であること等を考慮し抽出。

（２）事業を所管する各部局において、事業を継続する上で市民の意見を問うべきものや、施策展開する上で市民の理解を十分に求めることが必要であると判断した事業を対象事業候補として選定。

（３）対象事業候補について市民アンケートを実施。

（４）市民アンケート結果等を総合的に判断し、８事業を選定。

６　実施体制

公開事業評価を実施するための体制は次のとおりです。

名　称	役　割	人　数
コーディネーター	進行	１人
外部審議委員	質疑	４人
市民評価員	評価	１日目…２８人 ※３事業目からは都合により １人欠席のため２７人 ２日目…１９人
市職員	事業の概要説明、応答	３～５人程度

７　コーディネーター及び外部審議委員

コーディネーターは、評価作業の進行役として、議論をまとめる役割です。

外部審議委員は、評価作業の中で、対象事業について「行政の関与は必要か？事業は必要か？」、「今後も市が実施すべきか？」、「現在の事業内容は適正か？」といった観点から、市職員に対して質問を行い、議論をする役割です。

役割	氏名	所属等	参加日
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	伊藤　伸	構想日本　総括ディレクター	１・２日目
外部審議委員	伊賀　恵	ふりはた綜合法律事務所 弁護士	２日目
外部審議委員	片桐　幸雄	構想日本 政策アナリスト	１日目
外部審議委員	佐藤　幹子	名古屋市 人事委員会事務局 審査課	１日目
外部審議委員	田端　和彦	兵庫大学 副学長（研究・社会連携担当） 生涯福祉学部社会福祉学科 教授	１・２日目
外部審議委員	伴　幸俊	豊田市 市民福祉部長	１・２日目
外部審議委員	福嶋　浩彦	中央学院大学 教授 元消費者庁長官、元我孫子市長	２日目

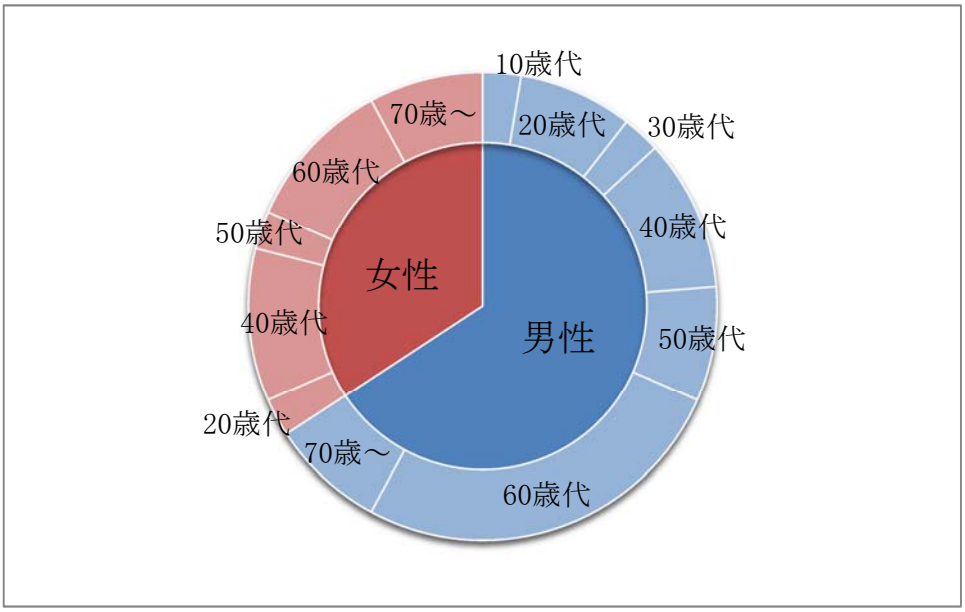
※コーディネーター及び外部審議委員は、支援機関である「構想日本」から専門的な知識を有する方を派遣いただきました。

８　市民評価員

市民評価員は、住民基本台帳から年齢層、性別、地域性を考慮のうえ、無作為に抽出した１８歳以上の市民１，５００人に案内を送付し、参加を希望された方３８人を選任しました。

選任された市民評価員の内訳は次のとおりです。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
男性　２５人	１人	３人	１人	４人	３人	１０人	３人
女性　１３人	―	１人	―	４人	１人	４人	３人
合計　３８人	１人	４人	１人	８人	４人	１４人	６人



選任された市民評価員のうち、当日は３３人に出席いただきました。

市民評価員の出席状況は次のとおりです。

【１日目】２８人（３事業目からは都合により１人欠席のため２７人）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
男性　１８人	―	３人	１人	１人	３人	８人	２人
女性　１０人	―	１人	―	２人	１人	３人	３人
合計　２８人	―	４人	１人	３人	４人	１１人	５人

【２日目】１９人

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
男性　１３人	―	―	１人	２人	２人	７人	１人
女性　　６人	―	―	―	２人	１人	３人	―
合計　１９人	―	―	１人	４人	３人	１０人	１人

９　市民評価員ガイダンス

公開事業評価の実施に先立ち、市民評価員を対象にガイダンスを開催しました。

（１）日時・場所　　平成２８年９月１４日（水）午後１時から
　　市役所 新館１０階 大会議室

（２）内容　　①実施概要説明
　　②講演「『公開事業評価』の概要と意義」
　　講師：構想日本 総括ディレクター 伊藤 伸 氏
　　③質疑応答
　　④事務連絡

（３）出席者　　１３人

１０　公開事業評価の周知方法

（１）広報かこがわ９月号掲載

（２）市ホームページ掲載

平成２８年８月２９日　開催案内掲載
平成２８年９月２１日　資料掲載
平成２８年９月３０日　インターネット中継サイトＵＲＬ掲載
平成２８年１０月１日　１日目評価結果（速報）掲載
平成２８年１０月２日　２日目評価結果（速報）掲載

（３）市フェイスブック「かこがわプラス」

平成２８年９月２９日 開催案内掲載

（４）加古川市議会への報告

平成２８年６月１４日　総務教育常任委員会にて実施概要報告
平成２８年７月２１日　総務教育常任委員会にて事業選定方法報告
平成２８年８月１７日　総務教育常任委員会にて対象事業報告

（５）報道機関への記事提供

平成２８年９月２３日　記事提供

１１　公開事業評価の中継

公開事業評価の実施当日の会場の模様について、インターネット中継を行いました。視聴件数は次のとおりです。

	視聴件数（平成２８年１０月２日現在）
【１日目】平成２８年１０月１日	１４３件
【２日目】平成２８年１０月２日	５９件

１２　傍聴者数

傍聴者は、市内、市外をあわせて２日間でのべ８３人でした。
内訳は次のとおりです。

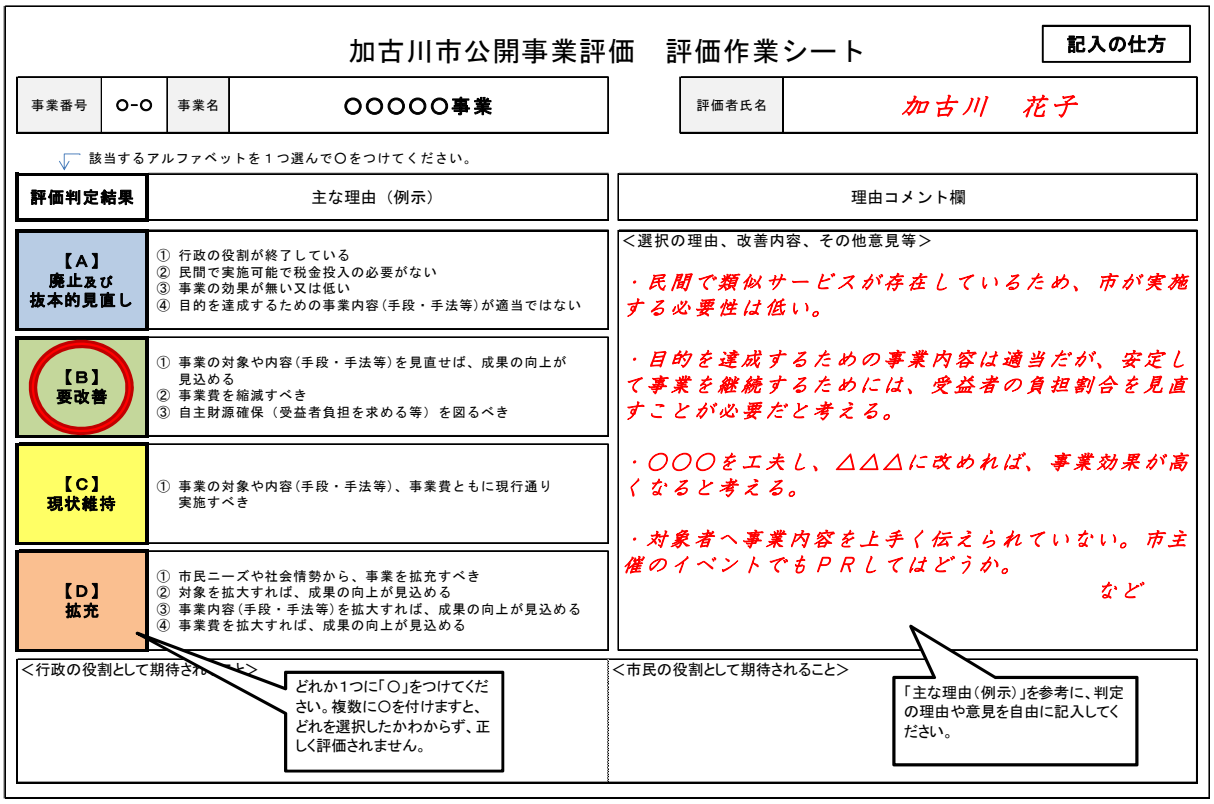
傍聴者数	地域別内訳	性別内訳	年齢別内訳
１日目 ５１人	市内　４２人 市外　　９人 （うち県内４人）	男性　３９人 女性　１２人	２０歳代　　２人 ３０歳代　　１人 ４０歳代　１１人 ５０歳代　１２人 ６０歳代　１４人 ７０歳以上　１１人
２日目 ３２人	市内　２５人 市外　　７人 （うち県内３人）	男性　２７人 女性　　５人	２０歳代　　１人 ３０歳代　　０人 ４０歳代　１１人 ５０歳代　１０人 ６０歳代　　８人 ７０歳以上　　２人
合計 ８３人	市内　６７人 市外　１６人 （うち県内７人）	男性　６６人 女性　１７人	２０歳代　　３人 ３０歳代　　１人 ４０歳代　２２人 ５０歳代　２２人 ６０歳代　２２人 ７０歳以上　１３人

第２章　評価結果

１　評価結果の区分

評価は次の４区分により行いました。

区　分		内　容
A	廃止及び 抜本的見直し	事業の廃止、一時凍結又は大幅な見直しが必要
B	要改善	事業の内容や手法、事業費等に改善が必要
C	現状維持	現行通り実施
D	拡充	拡充して実施



加古川市公開事業評価　評価作業シート

記入の仕方

事業番号	○-○	事業名	○○○○○事業	評価者氏名	加古川　花子

該当するアルファベットを１つ選んで○をつけてください。

評価判定結果	主な理由（例示）	理由コメント欄
【A】廃止及び抜本的見直し	① 行政の役割が終了している ② 民間で実施可能で税金投入の必要がない ③ 事業の効果が無い又は低い ④ 目的を達成するための事業内容（手段・手法等）が適当ではない	＜選択の理由、改善内容、その他意見等＞ ・民間で類似サービスが存在しているため、市が実施する必要性は低い。 ・目的を達成するための事業内容は適当だが、安定して事業を継続するためには、受益者の負担割合を見直すことが必要だと考える。 ・○○○を工夫し、△△△に改めれば、事業効果が高くなると考える。 ・対象者へ事業内容を上手く伝えられていない。市主催のイベントでもＰＲしてはどうか。 など
【B】要改善	① 事業の対象や内容（手段・手法等）を見直せば、成果の向上が見込める ② 事業費を縮減すべき ③ 自主財源確保（受益者負担を求める等）を図るべき	
【C】現状維持	① 事業の対象や内容（手段・手法等）、事業費ともに現行通り実施すべき	
【D】拡充	① 市民ニーズや社会情勢から、事業を拡充すべき ② 対象を拡大すれば、成果の向上が見込める ③ 事業内容（手段・手法等）を拡大すれば、成果の向上が見込める ④ 事業費を拡大すれば、成果の向上が見込める	

＜行政の役割として期待される事＞

どれか1つに「○」をつけてください。複数に○を付けますと、どれを選択したかわからず、正しく評価されません。

＜市民の役割として期待されること＞

「主な理由（例示）」を参考に、判定の理由や意見を自由に記入してください。

２　評価結果一覧

評価結果一覧は次のとおりです。

事業番号	事業名	評価区分			
		【A】廃止及び抜本的見直し	【B】要改善	【C】現状維持	【D】拡充
1－1	ＢＡＮ－ＢＡＮラジオ事業	3	２１	2	2
1－2	核兵器廃絶都市宣言事業	8	１３	3	4
1－3	戦没者遺族援護事業	１３	１２	2	
1－4	未利用農地等活性化対策事業	7	１１	1	8
2－1	ごみ減量化啓発事業	2	9	2	6
2－2	子育て支援予防接種助成事業	6	4	4	5
2－3	女性消防団活動事業	9	5	2	3
2－4	読書啓発事業	7	8	3	1

３　評価結果の活用

公開事業評価における評価結果は、市の最終判断となるものではありません。

公開事業評価のプロセスで議論された視点や意見、評価結果等を参考として当該事業のあり方や方針、手法などについて改めて検討を行い、市としての方向性を定めるとともに、業務改善に繋げていきます。

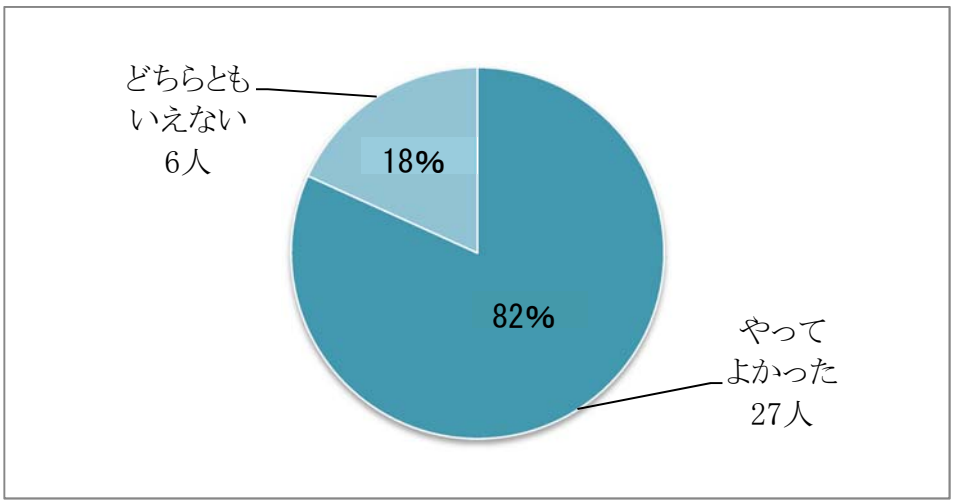
４　評価結果の公表

市ホームページ等において、公開事業評価の実施結果及び各事業の今後の方向性についての市の方針等を公表します。

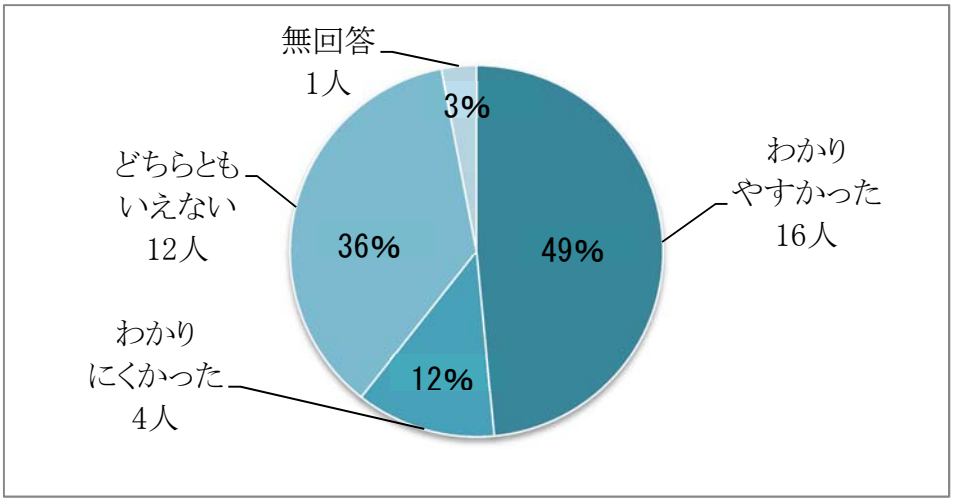
第３章　アンケートの主な結果

１　市民評価員アンケート　（回答件数：３３件）

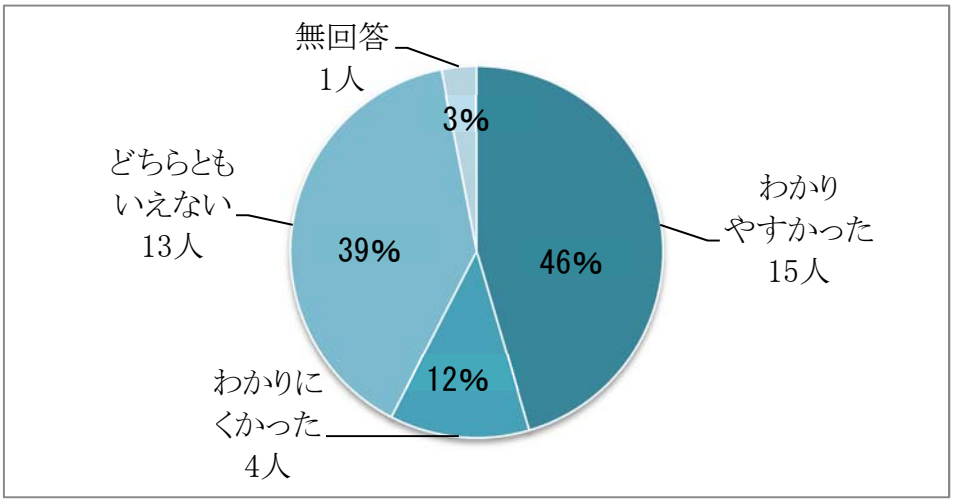
（問）市民評価員をやってみた感想はいかがでしたか。



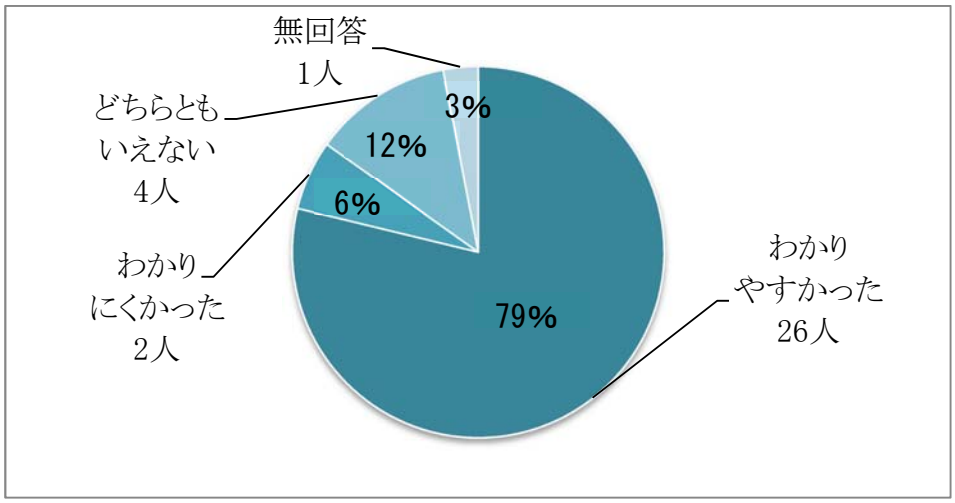
（問）資料の内容はいかがでしたか。



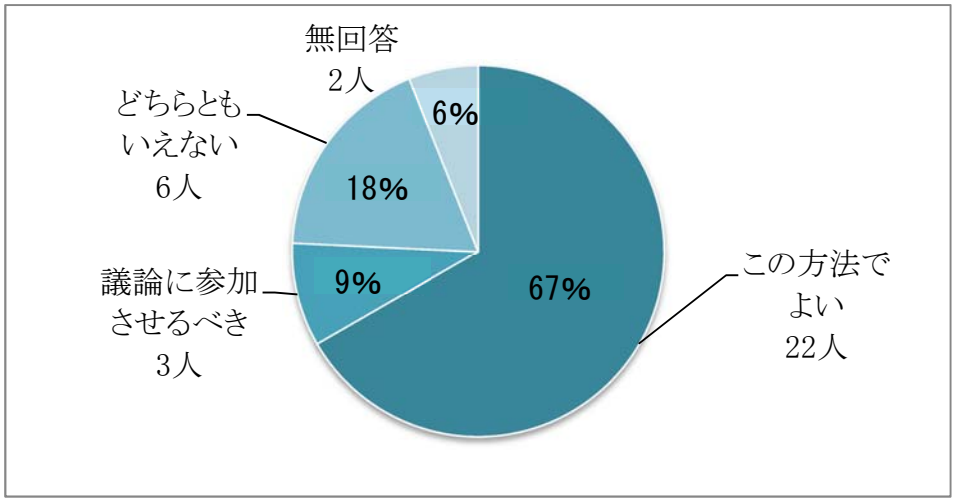
（問）説明者（市職員）の説明はいかがでしたか。



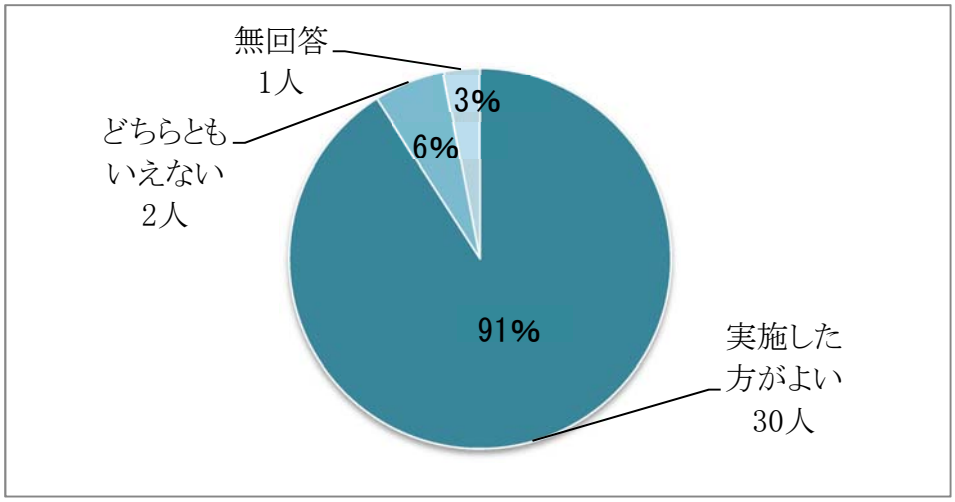
（問）外部審議委員の質問はいかがでしたか。



（問）市民評価員は議論に参加できませんでしたが、いかがでしたか。

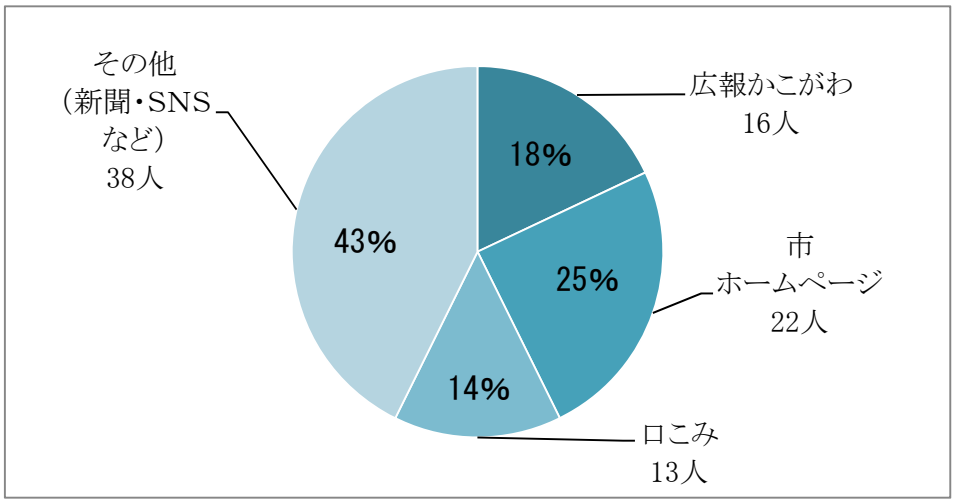


（問）今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われますか。

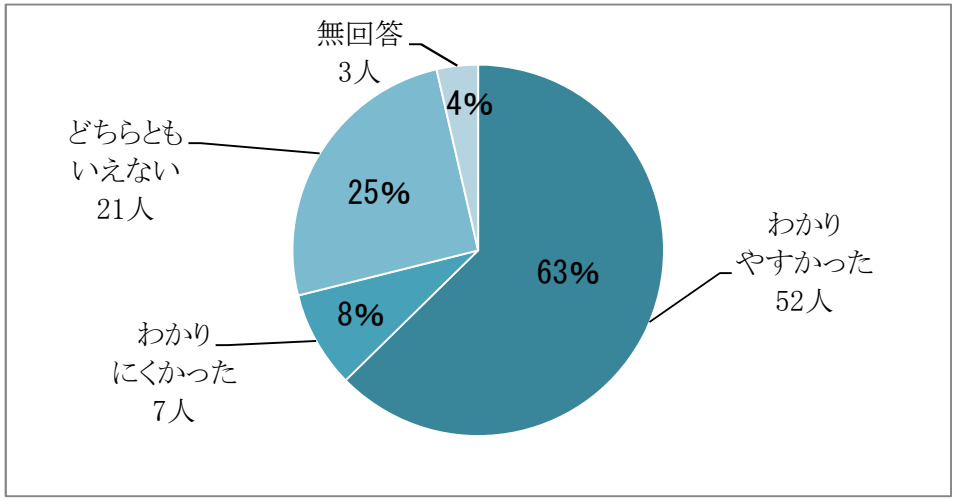


２　傍聴者アンケート　（回答件数：８３件）

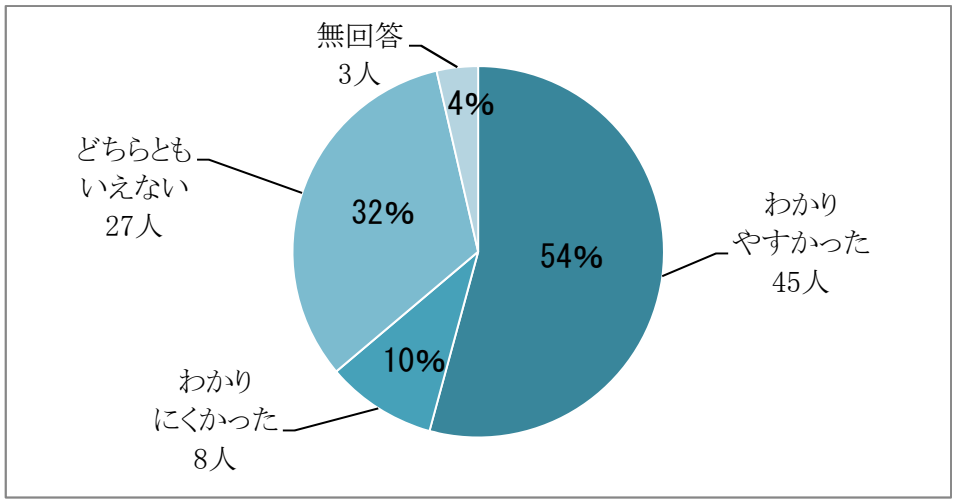
（問）公開事業評価を何で知りましたか。　※複数回答あり



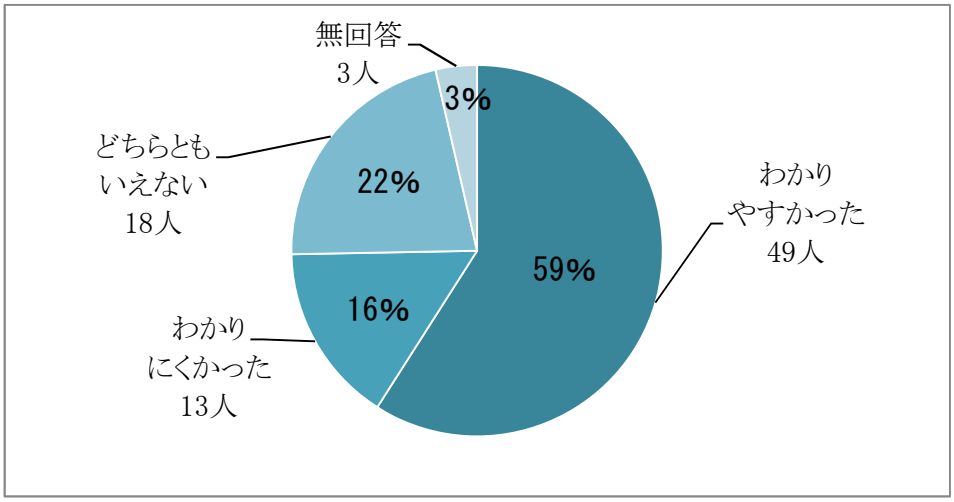
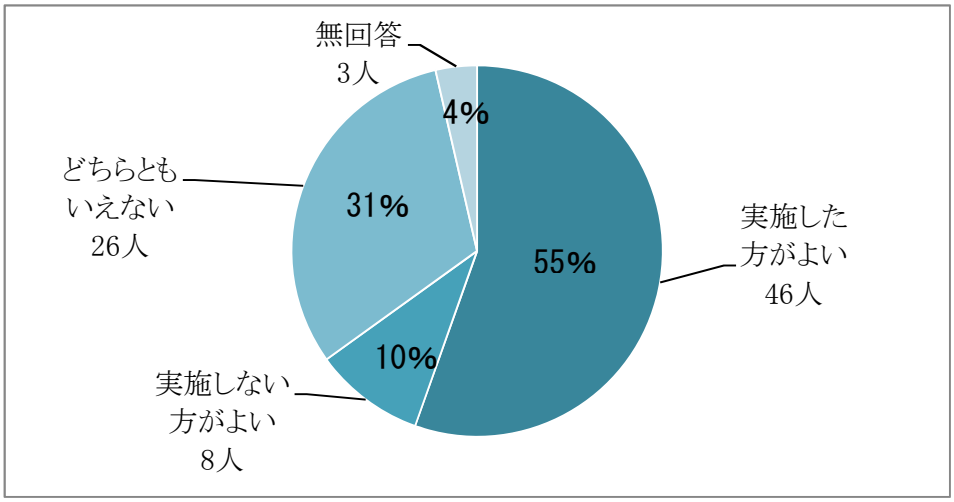
（問）資料の内容はいかがでしたか。



（問）説明者（市職員）の説明はいかがでしたか。



（問）外部審議委員の質問はいかがでしたか。



（問）今後も公開事業評価を実施した方がよいと思われますか。